

あいコープみやぎ

2020年ビジョン



はじめに

震災と原発事故は食料と労働力とエネルギーと部品の供給基地になっていた東北の姿を浮かび上がらせた。かつてこんな歌がありました。「俺らこんな村、嫌だ。東京へ行くだ。」しかし、歌にあるように銀座でべこは飼えません。

本当に、東北は、地方は自立していないのだろうか？ 都市にとって消滅すべきお荷物なのだろうか？ 本当は逆なのではないか。

地方には、自然があり、農業があり、畜産業があり、水産業や林業もあり、自然エネルギーがあり、そして田園回帰が始まっています。自立しているのは地方であり、都市は寄生しているにもかかわらず、経済の成長優先、金融や情報の集中で地方を収奪し、自立しているかにふるまっているのが真実ではないでしょうか。

私達は、震災後の翌年に、これまでの社会の在り方を反省し、「生産者と協同しお互いに見える関係で地域社会をつないでいくことが、自立した地域社会を基本とするネットワーク型社会の実現につながる」とした3年到達ビジョンを策定し、復興にも寄与してきました。

しかし、政府は震災と原発事故の教訓を無視し、金融緩和と財政で無理やり成長を図ろうとし、格

差を拡大しています。被災地では過大な予算のもとに、巨大防潮堤、道路や用地のかさ上げ、住宅の高台移転を、住民の意向を無視して行っています。利益はゼネコンやコンサルに還流し、被災地には住民がいなくなりつつあるのが現状です。

こうした中で、3年到達ビジョンを踏まえ、組合員、職員、生産者の参加で討議やワークショップを繰り返し、2020年ビジョンを策定しました。

私達は中央から外れた周辺、東北にいます。同時に仙台は宮城あるいは東北の中心にいます。私達は周辺であり、中心にもなっています。この地の利を生かして、新たな都市と地方の関係を創りあげていくことは、今後の日本社会の在り方のモデルを提示するチャレンジになります。

生産と消費の絆を取り戻し、第一次産業を始め国内生産の基盤を固め、内需の拡大を軸にした成熟社会に転換し、格差を是正していくことが求められています。

組合員、職員、生産者全体で、この2020年ビジョンを羅針盤として、持続可能な社会を目指していきましょう。

2016.6.9

生活協同組合あいコープみやぎ

理事長 小野瀬裕義

あいコープみやぎの基本理念

私たちは協同の力で、
人・食・環境を大切にする
持続可能な社会をつくります。

あいコープみやぎの行動理念

- より自然で安全な食べ物にこだわり生活者の暮らしと健康を守ります。
- 日本の食糧自給率を高めるため、生産者と共に産直運動を展開させます。
- 被害者にも加害者にもならず、環境に負荷をかけない暮らし方を広げます。
- 人と人の輪を大切にして、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。
- 安全・品質・価格・産直・環境面で優れた商品をつくります。
- 組合員と職員がいきいきと参加し、活動できる組織づくりを進めます。



ビジョン 1 食と農

組合員と生産者が
ともに生きる関係を
創ります

あいコープみやぎ 2020年ビジョン

おいしい!
たのしい!
だいすき!
あいコープ



ビジョン 2 環境とエネルギー



東北の自然を
未来につなぐために
暮らしと社会のシフトを
進めます

ビジョン 4 商品づくり



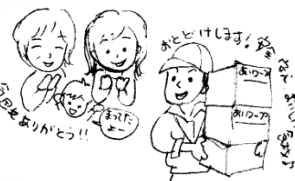
組合員の食卓に
「なくてはならない」商品
をふやします

ビジョン 3 地域と福祉



キッズからシニアまで
誰もが安心して暮らせる
地域を創ります

ビジョン 5 事業と組織



元気な組織と健全な
経営を実現します



2020年ビジョンテーマの由来

「ビジョンアンケート」として皆さんから寄せていただいた300通にのぼる熱い夢やご意見から、「いつまでもずっと変わらず続いてほしい」「高齢化社会への対応を…」「情報発信、あいコープがもっと広がってほしい」「世界の平和を」などが共通の願いだとわかりました。

おいしくて、安全・安心な商品の追求。暮らしの見直し、幸せな地

域コミュニティづくり…これらの実現には時に苦労も伴うかもしれないけれど、でも、楽しく活動し、事業を進めていけたら。そして、あいコープがなくてはならない生協として、もっと広がり、深まっていけたなら。

そこで、これらの想いを、あいコープに関わる全ての皆さんにわかりやすく伝えたいと、「おいしい! たのしい! だいすき! あいコープ」を2020年ビジョンのテーマにしました。

あいコープみやぎ 2020年ビジョン

おいしい！
たのしい！
だいすき！
あいコープ



あいコープみやぎの

2020年度数値目標

供給高	25億1800万円
配布人数	10,170人/週
利用人数	8,800人/週
利用高(1人あたり)	5,500円/週

ビジョン 1 食と農

組合員と生産者がともに生きる関係を 創ります

- ・「美味しい、楽しい、学べる！」産地交流やあいぶらんど運動を活発に展開し、あいコープの裾野を広げます。
- ・私たちの食卓を支える日本農業の大切さを「わかって食べる」組合員に育ちあいます。
- ・生産者とともに農産物のおいしさ・品質・栄養・安全安心をレベルアップし、「優ぶらんど」を推進します。
- ・組合員が生産者とともに、農作業を体験・参加できる実践農場に取り組みます。
- ・地場生産者とともに、耕畜連携・地域循環型のモデル産地づくりに挑戦します。

ビジョン 2 環境と エネルギー

東北の自然を未来につなぐために 暮らしと社会のシフトを進めます

- ・脱原発、エネルギーシフトにつながる情報を学び合い、わかりやすく発信し、暮らしのシフトを広めます。
- ・石けん、環境に関する学習会や交流会を内外で開催し、有害化学物質を使わない「石けん生活」を広めます。
- ・ネオニコチノイド系をはじめとする農薬の削減、GMOフリーゾーンの拡大に取り組みます。
- ・女川原発の再稼働をさせない宮城県民のネットワークに参加し、地域から脱原発を進めます。
- ・電力小売全面自由化に伴い、電力供給事業の展開を目指します。

ビジョン 3 キッズからシニアまで誰もが 地域と福祉 安心して暮らせる地域を創ります

- ・「平和」を守り、「人権」を大切にするために行動します。
- ・ジョイケアシステムの「たすけあい」「集団託児」「ささえあい」活動をいっそう進めます。
- ・「3.11 大震災を忘れない」被災地の復興を支援する活動を粘り強く継続します。
- ・高齢化社会へ向けて、自治体や地域コミュニティと連携し「地域包括ケアシステム」における「生活支援サービス」を追求します。
- ・社会福祉法人みんなの輪と協同し、障がいのあるなしに関わらず誰もが安心して暮らせる地域社会を目指します。
- ・保育所、幼稚園や子どもの施設と連携して、あいコープの安全安心な食材を提供します。

ビジョン 4 組合員の食卓に「なくてはならない」 商品づくり 商品をふやします

- ・作り手との「顔の見える関係」と組合員の声に基づいた、「価値」ある商品開発に取り組みます。
- ・安全・安心、そして美味しく、組合員の食卓に笑顔あふれる商品ラインナップの充実を目指します。
- ・品質・産地・利用の視点を追求し「あいぶらんど100選」に取り組みます。
- ・食材の旬を活かした調理のヒントや、商品の物語と生産者のこだわりを楽しく伝え、食卓を彩る「まんま通信」をつくります。
- ・組合員の信頼に応えられる食品安全の確保と、お届け品の鮮度・品質の向上を図ります。

ビジョン 5 元気な組織と健全な経営を 事業と組織 実現します

- ・「活動が事業を創り、事業が活動を創る」元気な組織と健全な経営を実現します。
- ・職員一人ひとりの行動を生協理念の実現につなげ、「応対品質、配達品質、商品知識で地域 No.1」を獲得します。
- ・「あいコープみやぎ」の品質と価値を地域に発信し、誰でも知っている存在にします。
- ・組合員と職員が共に組合員拡大に取り組み、あいぶらんど運動の「仲間」を増やします。
- ・震災の教訓を忘れずに、CO・OP共済を広め、組合員の安心とお役立ちにつなげます。
- ・事業規模を3.11大震災前と同規模に早期回復させます。